

小学生(中学年)向け



『おとな体験授業?』
なかがわちひろ/作
アリス館 ¥1,500 (税別)

今日はおとな体験授業。自分がどんな大人になりたいかを紙に書いてピーカーの液体に入ると、大人体験の世界へ。マンガ家になりたいあすかはなぜラーメン屋に。他のクラスメイトも、なりたい大人とは違う大人を体験すると……。



『挫折しそうなときは、左折しよう』
マーク・コロジョバンニ/文 ピーター・レイノルズ/絵 成田悠輔/訳
光村教育図書 ¥1,500 (税別)

理由もないのにうまくいかない日、「挫折」しそうになったら「左折」して、「モヤモヤ」「オロオロ」「ピクピク」「イライラ」する気持ちを道に置いていこう。抱えたままにするか手放すか、悩みとの付き合い方をユーモラスに描いた絵本。



『せんそうがおわるまで、あと2分』
ジャック・ゴールドステイン/作 長友恵子/訳
合同出版 ¥1,800 (税別)

同じ日、同じ町に生まれたジムとジュール。第一次世界大戦が勃発し、二人は兵士として戦地へ送られた。4年も続いた戦争は、1918年11月11日11時に終わる、と決定するが……。実際にあった出来事を元に、戦争のおろかさ、悲しさを描いた絵本。



『はじめての梅しごと』
高野紀子/作
偕成社 ¥1,400 (税別)

梅シロップの作り方を、豊富なカラーイラストを用いてわかりやすく説明している。梅シロップを使って作る飲み物やスイーツのレシピ、昔から梅の実で作られてきた梅干しなどの食品を紹介。子どもと一緒に「梅しごと」について学べる絵本。



『へそまがりの魔女』
安東みきえ/文 牧野千穂/絵
アリス館 ¥1,500 (税別)

呪いをかけられたが最後、逃げることはできないと言われている魔女のもとに、一人の少女が迷い込み、一緒に暮らすうちに互いに気持ちが通じ合う。やがて王国に王子が誕生すると、魔女が王子にかけた呪いは、「へそまがり」なものだった。



『ぼくは本のお医者さん』
深山さくら/文
佼成出版社 ¥1,400 (税別)

壊れた本を修理する「ブックドクター」として、製本会社の経営のかたわら、5,000冊以上の本を直してきた齋藤英世さん。本の修理を始めたきっかけやこれまでのあゆみ、本にまつわる思い出を大切にしたいという修理に対する思いを紹介する。



『ホッキョククジラのボウ』
アレックス・ボースマ/作・絵 ニック・パイenson/作 千葉茂樹/訳
小学館 ¥1,800 (税別)

200年前、北極海に1頭のクジラが生まれた。哺乳類の中で一番長生きするホッキョククジラの女の子・ボウだ。広い広い海を泳いでいたボウだったが、ボウが生きている200年の間に、北極海の環境は、人間によって大きく変化していく。



『リスのエビフライ探検帳』
飯田猛/著
技術評論社 ¥1,400 (税別)

森に落ちている「リスのエビフライ」。リスがどうやって作ったの? どうしてエビフライの形になるの? そんな不思議を豊富な写真で丁寧に教えてくれる。リスを始めとする森の生き物や、身近な自然への興味・関心を引き出す一冊。

その他のおすすめの本

『おばあちゃんのにわ』
ジョーダン・スコット/文 シドニー・スミス/絵 原田勝/訳 偕成社 ¥1,600 (税別)

『聞いて聞いて!』
高津修、遠藤義人/文 長崎訓子/絵 福音館書店 ¥1,600 (税別)

『暗やみに能面ひっそり』
佐藤まどか/作 アンマサコ/絵 B.L出版 ¥1,600 (税別)

『黒部の谷の小さな山小屋』
星野秀樹/写真・文 アリス館 ¥1,600 (税別)

『心をひらいて、音をかんじて』
シャノン・ストックァー/文 デヴォン・ホルスワース/絵 中野怜奈/訳 光村教育図書 ¥1,600 (税別)

『じゅげむの夏』
最上一平/作 マメイケタ/絵 佼成出版社 ¥1,500 (税別)

『すごいグラウンドの育て方』
金沢健児/著 Gakken ¥1,500 (税別)

『世界一長い鉄道トンネル』
笹沢教一/文 鈴木さちこ/絵 萩原まお/絵 Gakken ¥1,500 (税別)

『旅するわたしたち』
ロマナ・ロマネーシ、アンドリー・レシウ/作 広松由希子/訳 フロンズ新社 ¥2,200 (税別)

『ひと粒のチョコレートに』
佐藤清隆/文 junaida/絵 福音館書店 ¥2,000 (税別)

『ぼくんちの震災日記』
佐々木ひとみ/作 本郷けい子/絵 新日本出版社 ¥1,500 (税別)

『魔女の一日』
飯島都陽子/作 山村浩二/絵 金の星社 ¥1,800 (税別)